



平成30年度1月期

決算説明会



平成30年3月23日
株式会社丸千代山岡家
JASDAQ（証券コード：3399）



目次

会社概要・沿革	P 3～ P 4
平成30年度 1 月期決算概要	P 5～ P 19
平成31年度 1 月期の通期計画について	P 20～ P 23
平成31年度 1 月期の取組み等	P 24～ P 28
参考資料等	P 29～ P 40



会社概要

社名	株式会社丸千代山岡家
本社所在地	北海道札幌市東区東雁来7条1丁目4-32
関東事務所	茨城県つくば市小野崎127-1
設立	平成5年3月8日
代表者	代表取締役社長 山岡正
資本金	2億9,146万7,000円
従業員数	2,610人 (内 正社員407人)
事業内容	直営によるラーメン山岡家、極煮干し本舗、極味噌本舗の運営
店舗数	153店舗 (平成30年1月31日現在)

【当社の特徴】

郊外ロードサイドを中心として24時間営業を基本としております。
100店舗以上のラーメンチェーン店で、セントラルキッチンや濃縮スープを使わず、スープの仕込みや食材の店内調理を実施していることが、当社の大きな特徴であり、他社との差別化になっております。



沿革

昭和55年	東京都に(有)丸千代商事を設立
昭和63年	茨城県牛久市に「ラーメン山岡家」を開店
平成 5年	札幌市中央区に(株)山岡家を設立
平成12年	(株)山岡家本社を札幌市東区(現在地)に移転
平成14年	(株)丸千代商事を吸収合併し、(株)丸千代山岡家に商号変更
平成18年	ジャスダック証券取引所へ上場
平成21年	ラーメン山岡家100店舗達成
平成24年	茨城県つくば市に「コメダ珈琲つくば店」を開店
平成27年	株主優待制度開始を発表
平成28年	平成28年1月期売上高100億円突破 来客数1,000万人突破 インターネットショップ「山岡家商店」開始
	茨城県土浦市に「極煮干し本舗荒川沖店」を開店
平成29年	茨城県つくば市に「極味噌本舗桜土浦インター店」を開店



ラーメン山岡家145店舗、極煮干し本舗6店舗、極味噌本舗1店舗、コメダ珈琲店1店舗
(平成30年1月31日現在)



平成30年度 1 月期第決算概要



平成30年度1月期実績（1）

累計実績

売上高	:	12,134百万円	（前期比9.2%増）
経常利益	:	301百万円	（前期比33.6%減）

総評

- ✓ 売上高は前期と比較し、1,023百万円の増収
- ✓ 経常利益は前期と比較し、154百万円の減益

- ✓ 売上高、客数、客単価は前年を上回り増収
- ✓ 既存店の売上高が好調に推移し前期比104.4%
- ✓ 一部原材料価格の高騰により7月と12月に商品の値上げを行ったが、原価率の上昇は想定を上回った
- ✓ 採用難によるアルバイト時給の高騰と、労働環境改善による人件費の増加が想定を上回る
- ✓ 電気料金・ガス料金の高騰による光熱費の負担が前年と比べ増加



平成30年度1月期実績（2）

（単位：百万円 %）

	1 Q実績	2 Q実績	3 Q実績	4 Q実績	累計	比率
売上高	2,863	2,911	3,076	3,282	12,134	100.0
売上原価	732	759	795	841	3,128	25.8
売上総利益	2,130	2,152	2,281	2,441	9,005	74.2
販管費	2,131	2,155	2,192	2,241	8,720	71.9
営業利益	△0	△2	89	199	285	2.4
経常利益	△2	△1	93	211	301	2.5
当期利益	△9	△29	29	△5	△15	—

- ✓ 当社の売上高は下期偏重となっており、3 Q 4 Qに売上が拡大し通期計画を達成
- ✓ 2 Qと4 Qにラーメンの価格改定を行ったが、食材価格の高騰が原価を圧迫
- ✓ 販管費の上昇に対してコストコントロールに努めたが吸収しきれず通期で減益
- ✓ 9月8日に発表した修正計画の経常利益は達成
- ✓ 閉店関連、売上不振店の減損損失（通期で12店舗・195百万円）を計上し、当期利益はマイナスで着地



平成30年度1月期実績 当初予算対比（3）

（単位：百万円 %）

	平成30年1月期 当初予算	平成29年9月8日 発表 修正後計画	平成30年1月期 累計実績	売上 比率	修正計画比較	
					金額	比率
売上高	11,916	12,006	<u>12,134</u>	100.0	128	1.1
売上原価	3,023	3,068	3,128	25.8	60	2.0
売上総利益	8,893	8,937	9,005	74.2	68	0.8
販管費	8,507	8,644	<u>8,720</u>	71.9	76	0.9
営業利益	385	293	285	2.4	△8	△2.7
経常利益	400	300	<u>301</u>	2.5	1	0.3
当期利益	207	127	<u>△15</u>	—	△142	—

- ✓ 売上高は既存店が好調に推移し、修正計画に対して101.1%と達成
- ✓ 売上総利益は原価率上昇のために減少したが、修正計画を確保
- ✓ 販管費の上昇に対してコストコントロールに努め、修正計画の経常利益を確保
- ✓ 売上不振店の減損損失を計上したために、当期利益はマイナスで着地



平成30年度1月期実績 対前年比較（4）

（単位：百万円 %）

	平成29年1月期 累計実績	平成30年1月期 累計実績	売上 比率	対前年比較	
				金額	比率
売上高	11,110	12,134	100.0	1,024	9.2
売上原価	2,816	3,128	25.8	312	11.1
売上総利益	8,294	9,005	74.2	711	8.6
販管費	7,865	8,720	71.9	855	10.9
営業利益	429	285	2.4	△144	△33.6%
経常利益	455	301	2.5	△154	△33.9%
当期利益	129	△15	—	△144	—

- ✓ 全店の売上高は新規出店も含め、前年の売上高と比較し約9%の増収
- ✓ 食材価格高騰により、原価率が0.4ポイント上昇
- ✓ 売上総利益の増加以上に販管費が増加し、前年と比較して営業利益・経常利益は減益
- ✓ 閉店・売上不振店の特別損失を計上し、当期利益はマイナスで着地



平成30年度1月期実績 コスト内訳（5）

（単位：百万円 %）

	平成29年1月期 累計実績（A）	売上比率	平成30年度1月期 累計実績（B）	売上比率	対前年比較（B）－（A）		
					金額	対改善率	
売上高	11,110	100.0	12,134	100.0	1,024	—	
売上原価	2,816	25.4	3,128	25.8	312	0.4	
売上総利益	8,294	74.6	9,005	74.2	711	△0.4	
販売費及び一般管理費	給与・雑給	3,701	33.3	4,079	33.6	378	0.3
	法定福利費	368	3.3	431	3.6	63	0.3
	消耗品費	220	2.0	225	1.9	5	△0.1
	広告宣伝費	148	1.3	162	1.3	14	—
	水道光熱費	1,140	10.3	1,293	10.7	153	0.4
	地代家賃	736	6.6	773	6.4	37	△0.2
	減価償却費	389	3.5	401	3.3	12	△0.2
	その他	1,163	10.5	1,356	11.2	193	0.7
	計	7,865	70.8	8,720	71.9	855	1.1

- ✓ 麺・ネギ・海苔・米などの食材価格の高騰により原価率が前年と比較し0.4ポイント増加
- ✓ 採用難によるアルバイトの時給高騰で、給与手当・雑給が前年と比較し0.3ポイント増加
- ✓ 電気単価・ガス単価のコスト増により水道光熱費が0.4ポイント増加
- ✓ コストコントロールでは吸収できず販管費計は1.1ポイント増加



貸借対照表・キャッシュフロー計算書

貸借対照表

	平成30年1月期	前期末比増減		平成30年1月期	前期末比増減
流動資産	1,294	241	流動負債	1,913	174
棚卸資産	368	45	1年以内返済借入金・社債	783	56
固定資産	4,171	80	固定負債	2,041	199
有形・無形固定資産	3,158	32	長期借入金・社債	1,941	168
投資その他の資産	1,013	49	純資産	1,511	△51
資産合計	5,466	322	負債・純資産合計	5,466	322

キャッシュフロー計算書

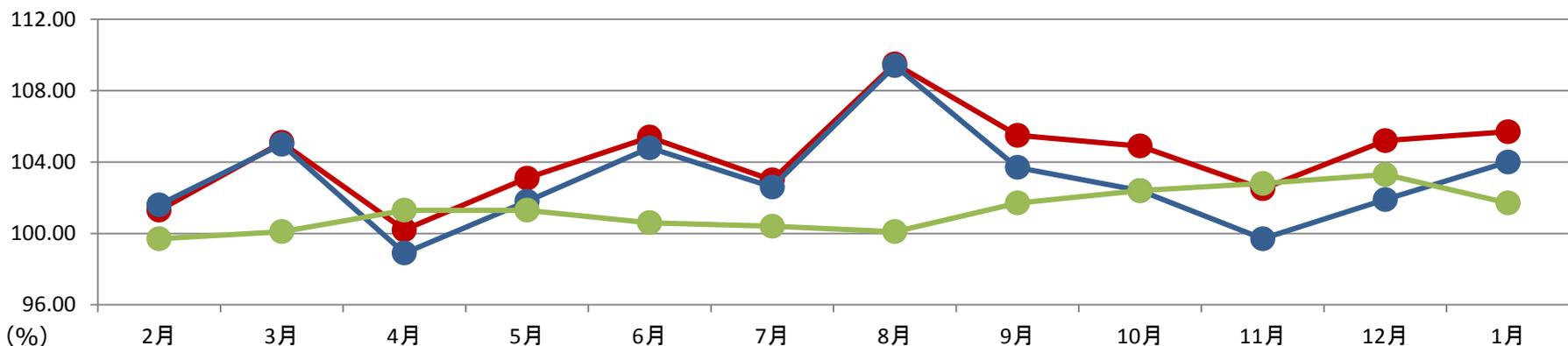
	平成29年1月期	平成30年1月期
営業活動によるキャッシュフロー	375	670
投資活動によるキャッシュフロー	△923	△680
財務活動によるキャッシュフロー	322	156

(単位 : 百万円)



平成30年度1月期既存店売上高推移（対前年比）

● 売上高 ● 客数 ● 客単価



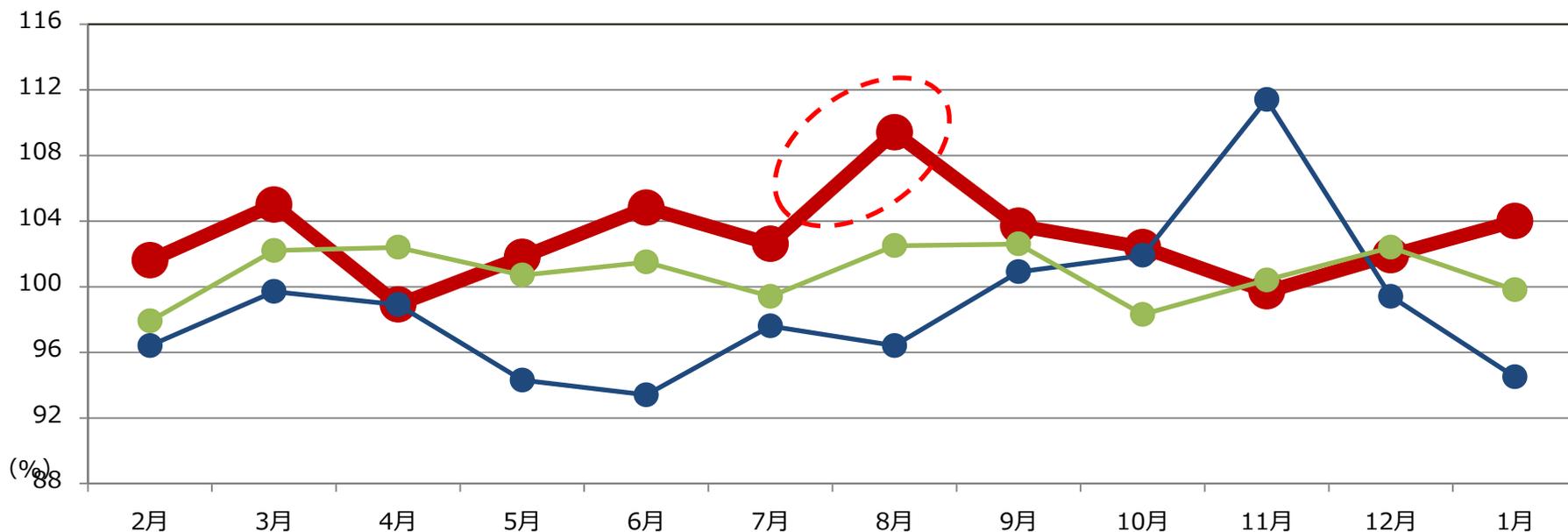
(単位：%)

	平成30年1月期												
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
売上高	101.3	105.1	100.2	103.1	105.4	103.0	109.5	105.5	104.9	102.5	105.2	105.7	104.4
客数	101.6	105.0	98.9	101.8	104.8	102.6	109.4	103.7	102.4	99.7	101.9	104.0	103.0
客単価	99.7	100.1	101.3	101.3	100.6	100.4	100.1	101.7	102.4	102.8	103.3	101.7	101.3



既存店客数推移の他社との比較（対前年比）

● 山岡家 ● K社 ● H社



- ✓ 当社は通期で既存店客数が103.0%となり前年を上回った
- ✓ 当社は客単価は前年並みだが、客数増で既存店の前年売上高は増収
- ✓ 当社は4月に客数を落した理由として、前年度に春の感謝祭イベントを実施しており、今年度はその時期にイベントを行わなかった反動がでたと判断
- ✓ <--> は「夏のGOGO感謝祭」開催期間と期間限定商品の旨辛スタミナラーメンのヒットで客数が大きく伸びた
- ✓ 大手ラーメンチェーンK社、H社と比べても既存店客数は好調に推移



平成30年1月期の出店



店舗名	オープン日	備考	住所
ラーメン山岡家諏訪店	平成29年3月15日	-	長野県諏訪市四賀1746
極味噌本舗桜土浦インター店	平成29年3月21日	味噌業態	茨城県つくば市下広岡1055-166
極煮干し本舗狸小路4丁目店	平成29年4月17日	煮干し業態	北海道札幌市中央区南3条西4丁目20番地
ラーメン山岡家南2条店	平成29年5月15日	リニューアル	北海道札幌市中央区南2条西1丁目6番地
ラーメン山岡家旭川神居店	平成29年6月21日	リロケート	北海道旭川市神居5条1丁目1番25号
極煮干し本舗東松山店	平成29年7月21日	煮干し業態	埼玉県東松山市五領町16番14号
ラーメン山岡家函館万代店	平成29年7月24日	-	北海道函館市万代町7番14号
極煮干し本舗浜松入野店	平成29年9月23日	煮干し業態	静岡県浜松市西区入野町9463
極煮干し本舗蘇我店	平成29年10月20日	煮干し業態	千葉県千葉市中央区川崎町
ラーメン山岡家新発寒店	平成29年10月28日	-	北海道札幌市手稲区新発寒2条1丁目
ラーメン山岡家滝川店	平成29年11月15日	リニューアル	北海道砂川市空知太東1条7丁目1番3号
極煮干し本舗弘前店	平成29年12月18日	煮干し業態	青森県弘前市外崎4丁目1番15号



平成30年度1月期エリア別出店状況

北海道・東北エリア

	H29.1末店舗数	増減	H30.1末店舗数
北海道	46	3	49
宮城県	3	-	3
福島県	3	-	3
山形県	1	-	1
秋田県	1	-	1
岩手県	1	-	1
青森県	1	1	2

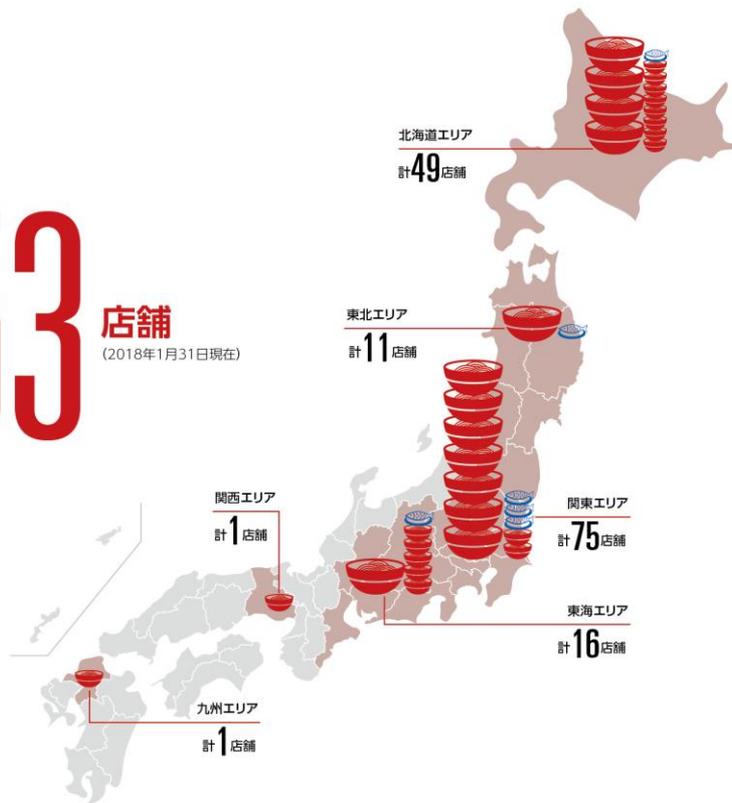
関東・北陸エリア

	H29.1末店舗数	増減	H30.1末店舗数
茨城県	20	-	20
群馬県	9	-	9
栃木県	9	-	9
千葉県	14	1	15
埼玉県	12	-	12
東京都	1	-	1
神奈川県	3	-	3
山梨県	3	-	3
長野県	2	1	3
石川県	1	△1	0

東海・関西・九州エリア

	H29.1末店舗数	増減	H30.1末店舗数
静岡県	7	-	7
岐阜県	2	-	2
愛知県	6	-	6
三重県	1	-	1
大阪府	1	△1	0
兵庫県	1	-	1
福岡県	1	-	1

153 店舗
(2018年1月31日現在)



合計

北海道・東北	関東・北陸	東海・関西	H30.1末店舗数
60	75	18	153



平成30年度1月期の期間限定メニューの紹介



2月24日～4月23日



4月24日～6月30日



6月1日～8月31日



7月1日～9月10日



9月15日～10月15日



10月16日～12月17日



12月18日～1月31日



12月11日～販売中



9月15日～3月18日

- ✓ 夏に販売した新商品の旨辛スタミナラーメンがヒット
- ✓ 冬の定番商品のプレミアム醤油とんこつ、過去の販売で人気商品だったG系もやし味噌を冬の感謝祭イベントに合わせて販売することで、客数増につなげることができた
- ✓ 販売数は総客数に対する購入実績で
 - 「鬼煮干し9.8%」「えび醤油9.8%」「冷やし中華 1.9%」「旨辛スタミナ 11.5%」
 - 「きのこ醤油5.5%」「プレミアム醤油13.0%」「G系もやし味噌11.1%」



平成30年1月期の取組み (1)



✓ 販促関係

- (1) 北海道地区でテレビCM放映 (平成29年3月～平成29年5月、平成29年11月～平成30年1月)
- (2) 150店舗達成記念のトッピング無料券配布 (平成29年5月)
- (3) 夏のGOGO感謝祭実施 (平成29年6月～平成29年9月)
- (4) 冬の感謝祭実施 (平成29年11月～平成30年1月)
- (5) 通販サイト山岡家商店のインスタントラーメンを山岡家の店内販売開始
- (6) 極煮干し本舗のホームページ開設

✓ QSC関係

- (1) 全店でスープコンテスト実施
- (2) 全店でネギ切りコンテストの実施
- (3) 全スタッフで接客サービスコンテスト実施
- (4) お米の品質向上を目的に全店無洗米に切り替え
- (5) 衛生管理強化を目的に衛生管理部門を設立
- (6) SVの2名増員による店舗巡回頻度向上



平成30年1月期の取組み (2)



- ✓ 労務関係
 - (1) 36協定遵守に向けての労働時間管理の強化
- ✓ 店舗設備関係
 - (1) 防犯カメラの全店設置
 - (2) 「フリー-Wi-Fi」の全店導入
 - (3) タッチパネル式券売機2台体制化に向けた全店導入完了
- ✓ ほか
 - (1) 山岡家の営業不振店の極煮干し本舗への業態転換実施（東松山店、浜松入野店）
 - (2) 極煮干し本舗の店舗数が期末時点で6店舗
 - (3) 極味噌本舗のリニューアル実施（平成29年8月10日再オープン）
 - (4) 山岡家の営業不振店の閉店（つくば店・岸和田店・金沢森戸店）
 - (5) 旭川高砂台店を閉店しリロケート ⇒ 旭川神居店グランドオープン
 - (6) 新業態候補として「からあげ」の試験的販売の開始



まとめ

- ✓ 既存店の売上高は順調に推移し前年対比で104.4%
- ✓ テレビCMを放映した北海道地区は既存店の前年比が108.4%で好調を維持
- ✓ 150店舗達成記念トッピングチケット、夏のGOGO感謝祭、冬の感謝祭、期間限定商品のヒットもあり売上高は当初の計画を上回る
- ✓ 出店については、山岡家の新店が4店舗、山岡家のリニューアルが2店舗、極味噌本舗が1店舗、極煮干し本舗が5店舗(業態転換2店舗)、山岡家の閉店が6店舗(業態転換・リロケート含む)で期末店舗数が153店舗
- ✓ 7月と12月に一部商品の値上げを行ったが、食材価格の高騰が続き、原価率が当初計画と比較して0.4ポイントの上昇、修正計画に対して0.2ポイントの上昇となった
- ✓ アルバイトの時給高騰により平均時給が前年と比較し35円上昇(平均時給1,119円)
- ✓ 労働環境改善の為に社員・アルバイトの採用を強化し、1店舗当たりのスタッフ数は増えたが、トレーニングコストを含む人件費が増加

【まとめ】

通期で新規出店は10店舗となり計画通りに推移し、既存店の売上高が前年比104.4%と好調を維持し当初の計画を上回った。

しかし、ネギ・麺・米・海苔などの食材価格の高騰により、年2回の一部商品の値上げを行ったが原価上昇を吸収できず原価率は上昇した。また、労働環境改善の為に人件費増、電気・ガス料金の上昇による光熱費の増加など、各種コストの増加により、9月8日に当初計画を修正することとなった。

通期では売上高・経常利益は修正計画を達成したが、期末に売上不振店の減損処理を行い、当期利益はマイナスで着地することになった。



平成31年度1月期通期計画について



平成31年度1月期通期計画と前提条件

(単位：百万円 %)

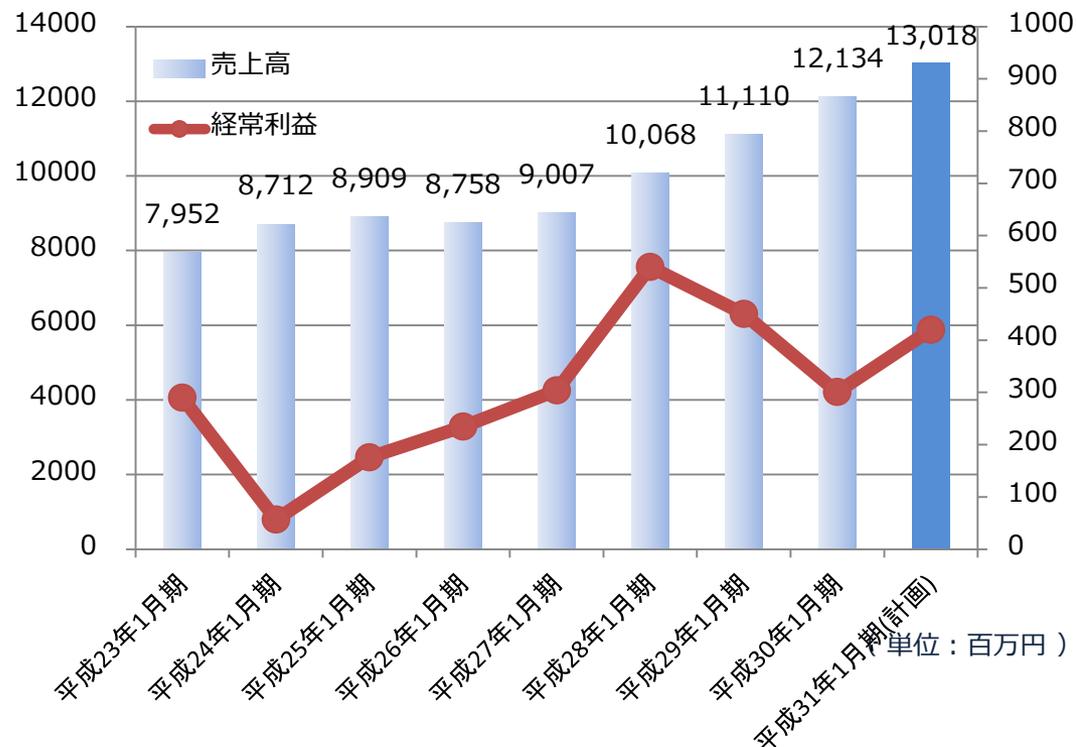
	平成31年1月期 上期	平成31年1月期 下期	累計	売上比率
売上高	6,147	6,871	13,018	100.0
売上原価	1,591	1,771	3,362	25.8
売上総利益	4,555	5,099	9,655	74.2
販管費	4,502	4,749	9,251	71.1
営業利益	53	350	403	3.1
経常利益	59	360	420	3.2
当期利益	14	194	208	1.6

項目	前提条件
新規出店	10店舗の出店計画（業態転換、リニューアルは含まず）
売上高	既存店の売上高を前年比103%と予測し、全社で130億1,800万円を計画
原価率	概ね前期並みを計画
人件費率	人件費(役員報酬・給与手当・雑給・退職給付費)は33.4%を計画（前期は33.6%）
水道光熱費	概ね前年並みを計画
販管費率	概ね前年並みを計画
設備投資	出店費用、リニューアル費用として8億円を計画



対前期比較と売上高推移

	平成30年1月期 実績 (A)	平成31年1月期 通期計画 (B)	対予算比較 (B-A)
売上高	12,134	13,018	884
売上原価	3,128	3,362	234
売上総利益	9,005	9,655	650
販管費	8,720	9,251	531
営業利益	285	403	118
経常利益	301	420	119
当期純利益	△15	208	223



- ✓ 売上高は前年比107.1%の130億18百万円を計画
- ✓ 今期の新規出店は前期と同程度の10店舗を計画
- ✓ 10店舗の新規出店の他に、老朽店舗のリニューアルを計画
- ✓ 今期の水道光熱費は10.1%（前期実績は10.7%）、販管費は71.1%（前期実績71.9%）を計画
- ✓ 経常利益は前年比39.5%増の約4億20百万円の増収増益と計画



今期の出店・退店計画

- ✓ 今期は既存店のドミナントを目指し10店舗の出店を計画
- ✓ 出店エリアは北海道から中京地区のロードサイド物件
- ✓ 老朽化した山岡家の大規模リニューアルを今期も継続して実施
- ✓ 「ラーメン山岡家」「極煮干し本舗」「からあげ業態」の出店を計画



二代目極煮干し本舗すすきの店

店舗名	オープン日・閉店	備考	住所
山岡家前橋亀里店	(閉店) 平成30年2月16日		群馬県前橋市亀里町336-2
山岡家吹上店	(閉店) 平成30年2月16日		埼玉県鴻巣市下忍3828-1
二代目極煮干し本舗すすきの店	平成30年3月26日		北海道札幌市中央区南5条西4丁目7-6
山岡家土浦店	平成30年4月20日	リニューアル	茨城県土浦市東崎町12-3
山岡家牛久店	平成30年6月下旬	リニューアル	茨城県牛久市中根町270-3
山岡家新道店	年内実施	リニューアル	北海道札幌市東区北34条東21丁目1-3
山岡家秋田寺内店	年内出店予定	契約済み	秋田県秋田市
山岡家八戸店	出店候補地	契約中	青森県八戸市
二代目極煮干し本舗久喜店	出店候補地	契約中	埼玉県久喜市



平成31年度1月期の取組み等



今期の取組み (1)

今期のスローガン

「 QSCの向上なくして会社の成長なし 」

- ✓ QSC関係
 - (1) 経営理念の理解と定着
 - (2) 接客スタンダードオペレーションの向上
 - (3) SVの増員による店舗巡回頻度の向上
 - (4) スキル向上とオペレーション確認のインナープロモーションの実施
 - (5) 衛生管理プログラムの導入
 - (6) トレーニングセンターの稼働
 - (7) 新規オープン店舗の専属対応部署の設立
 - (8) 店内全面禁煙店舗の試験導入 (東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県店舗)
 - (9) オペレーションマニュアルの見直しと改修
 - (10) スマートフォンの動画アプリを使ったマニュアル配信 (全スタッフ対象)

- ✓ 出店・リニューアル関係
 - (1) 10店舗の出店を計画 (山岡家7店舗、極煮干し本舗2店舗、からあげ業態1店舗)
 - (2) 極煮干し本舗リニューアル (商品内容、価格、内外装イメージ)
 - (3) 老朽化店舗の大規模改修による売上の向上 (今期は牛久店、土浦店、新道店の3店舗)
 - (4) 既存店のトイレの改修





今期の取組み (2)

3月22日～5月20日

2月1日～3月20日

3月22日～5月20日

✓ 販促関係

- (1) 山岡家生誕30周年イベント開催予定 (トッピングチケット配布、サービス券2倍など)
- (2) 山岡家の期間限定商品販売 (再販商品を含み年間5品)
- (3) お子様セットのリニューアル (商品内容と食器類)
- (4) LINEを使った会員サービスの実施 (北海道エリア)
- (5) テレビCMの放映 (北海道エリア)
 - ・閑散期に放映し売上の底上げを狙う (4月～6月、9月～11月放映予定)
- (6) JAFとの「トッピングサービスと広報誌掲載」の連携強化 (北海道エリア)
- (7) 極煮干し本舗の期間限定商品販売 (新規商品を年間3品)
- (8) 極煮干し本舗の商品の充実 (レギュラーメニューの追加)
- (9) 極煮干し本舗全店でサービスチケットの発券開始 (4月1日)

✓ ES関係

- (1) 労働基準法・36協定遵守の体制強化 (労働時間の把握と適正化)
- (2) 評価制度・給与制度のリニューアル



今期の取組み (3)





株主優待・配当等

- ✓ 株主優待
100株以上の株主様に年2回のラーメン無料券を発行
もしくは、北海道米の「おぼろづき」の選択も可
- ✓ 配当方針
今期の配当は14円を予定しております

- ✓ 平成29年7月31日基準日の株主優待の考察
 - (1) 株主優待申し込み状況 全株主の91.6%と高水準の申し込み率
 - ・ 申込み忘れの株主様への対応
⇒ 申込ハガキをお送りいただけなかった株主様全員に優待券送付
 - (2) 優待の商品受注内容
 - ・ ラーメン無料券75% お米25%
 - (3) 株主の男女比、年齢構成について
 - ・ 男性79%女性21%
 - ・ 年代別では40代の株主様が多い
 - (4) 株主数について
 - ・ 大阪府在住の株主様が32名減少（岸和田店の閉店の影響の可能性あり）
 - ・ 平成30年1月末基準日時点の株主数は3,800人を超える
⇒ 1単元株主の増加により半期で**300名の株主数増**





参考資料



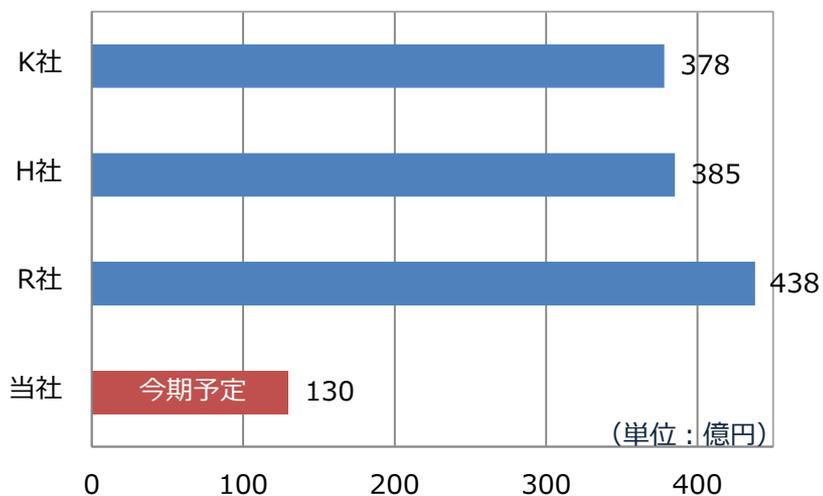
業界データ

【当社推定のラーメン業界データ】

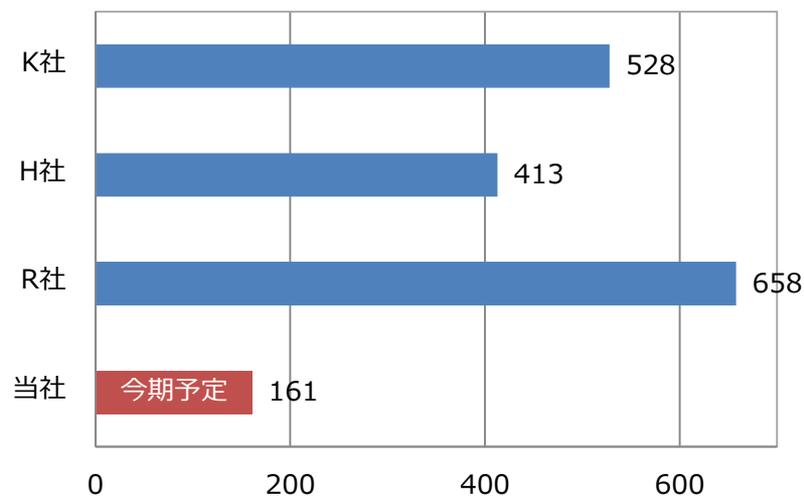
ラーメン業界に特化した統計データではないものの、市場規模は5,000億円~7,000億円、店舗数はおよそ35,000店と推測されております。

上場企業のラーメン事業を行う企業の売上高や店舗数を合計しても、市場規模から比べるとまだまだ小さく、国内のラーメン店の大半は個人店か小規模なチェーン店が多く存在していると考えられます。よって、当社が出店を続けシェアの拡大を行う事は可能と判断しております。

上場企業のラーメン事業の売上高

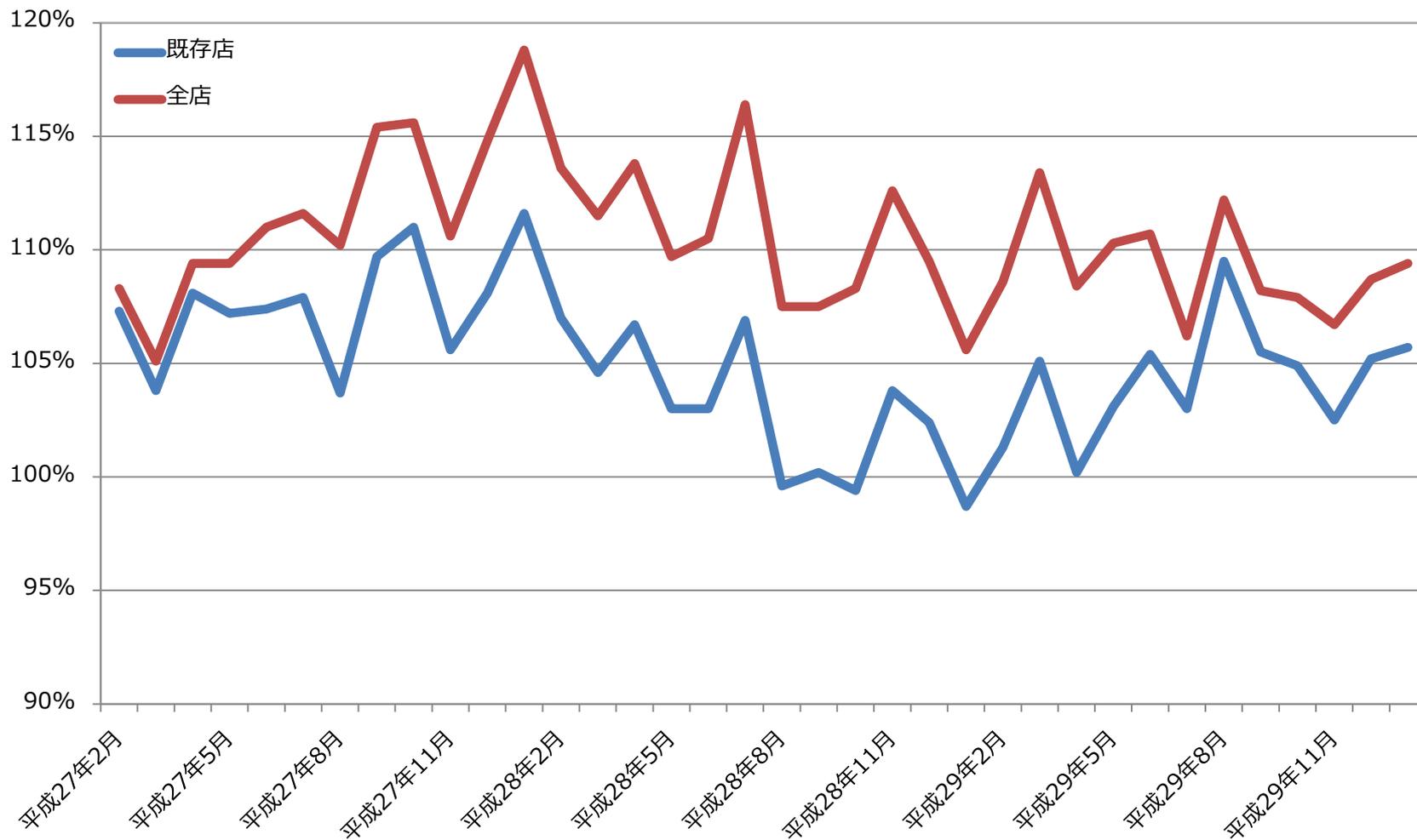


上場企業のラーメン店の店舗数



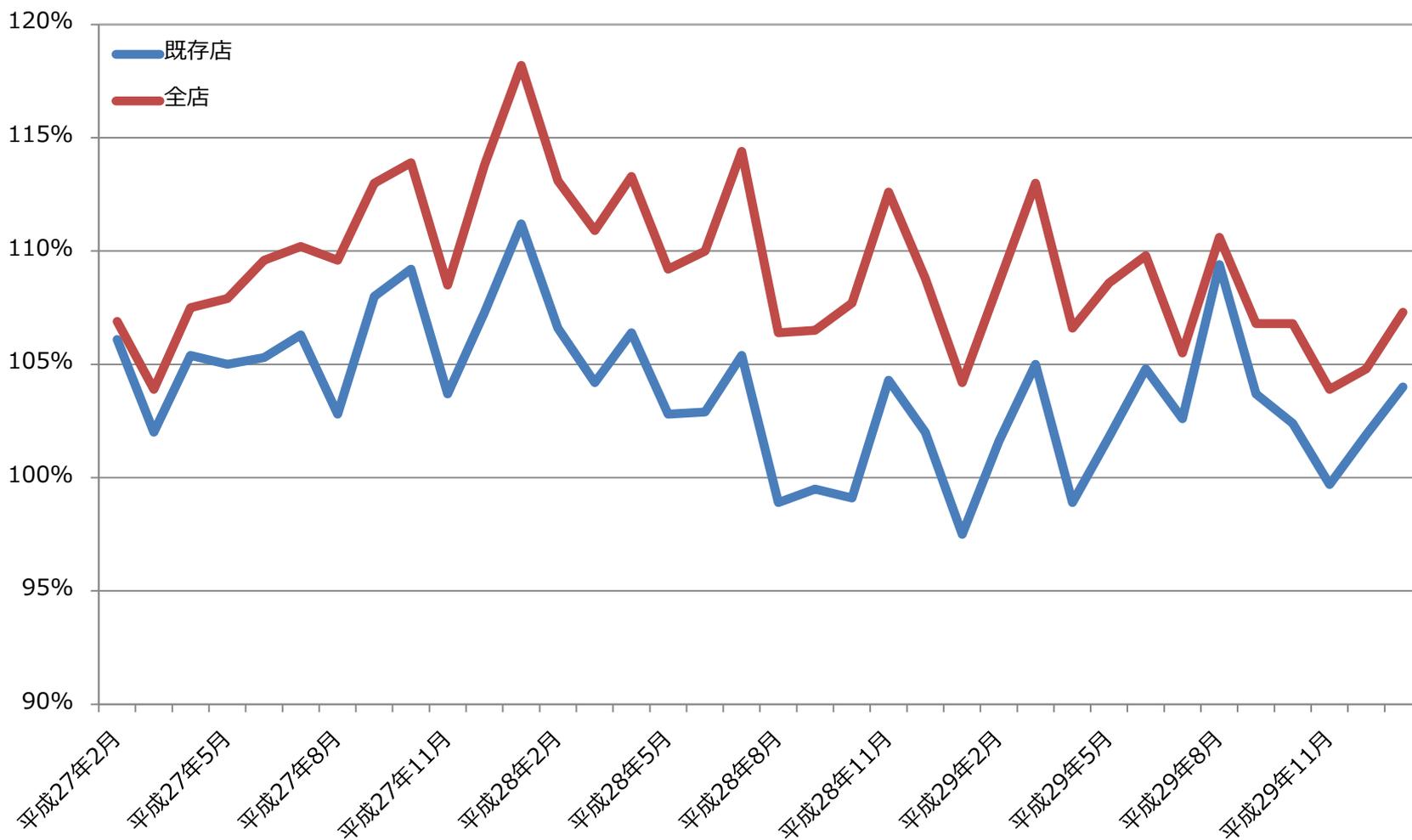


月次売上高推移（対前年比）



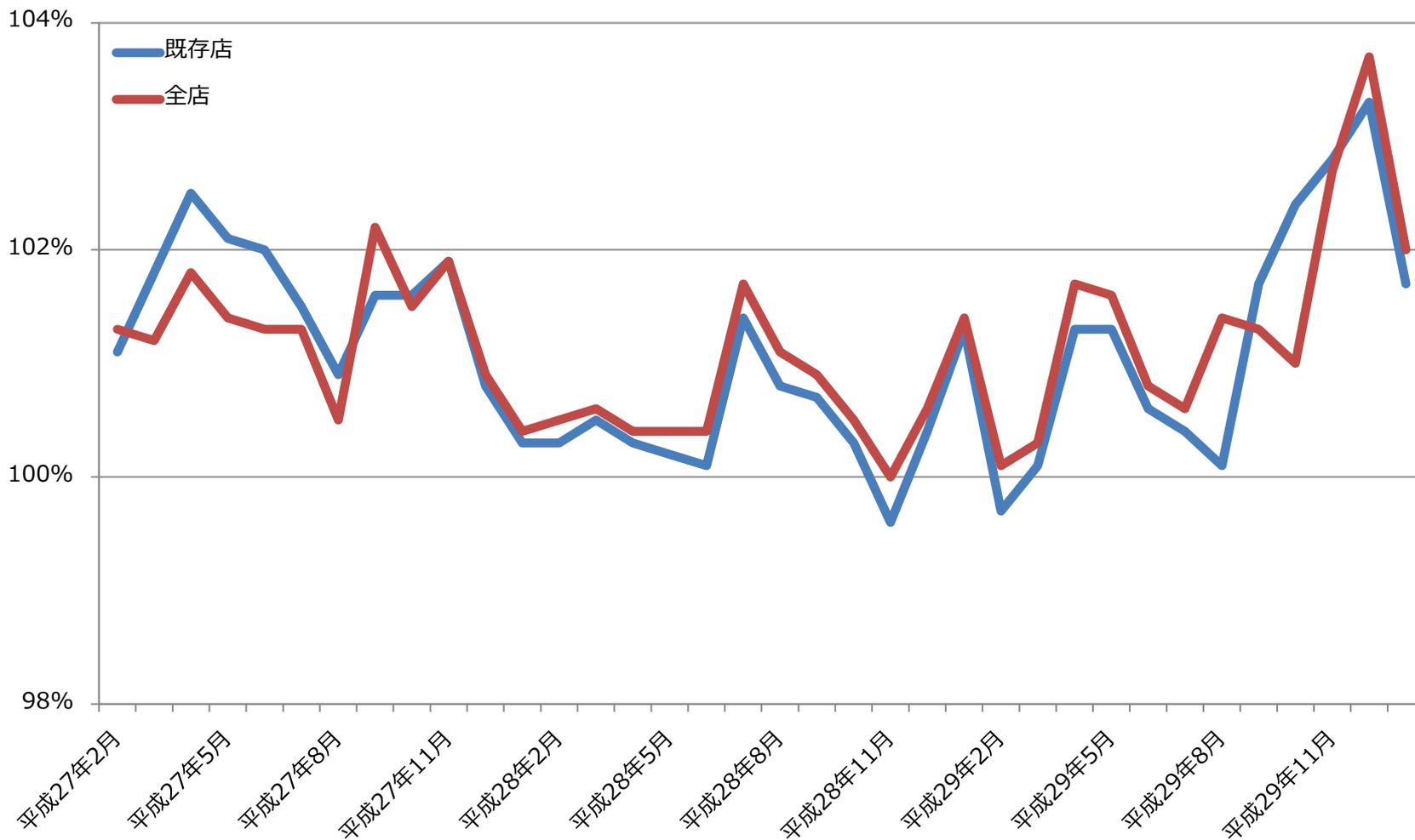


月次客数推移（対前年比）



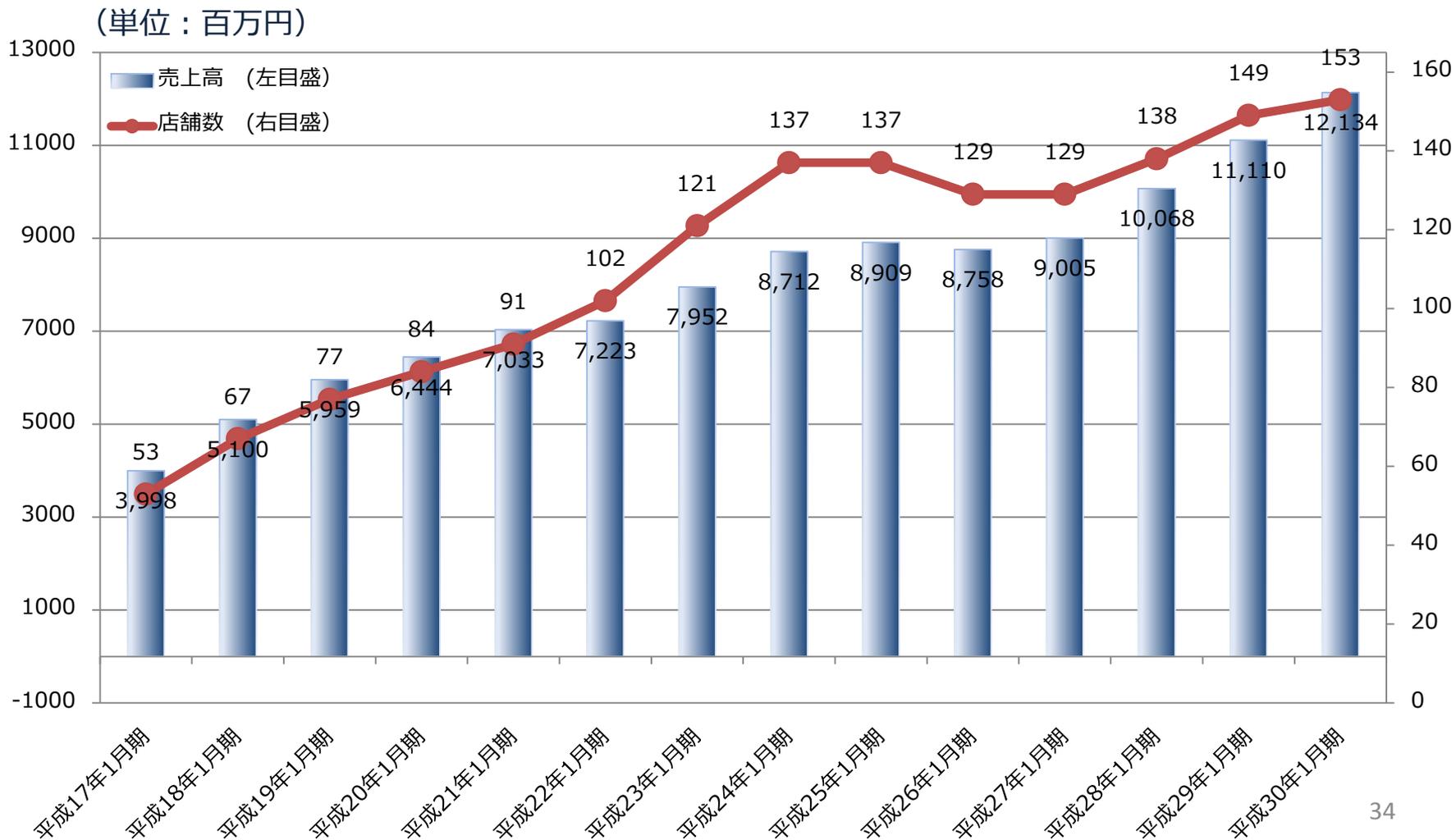


月次客単価推移（対前年比）



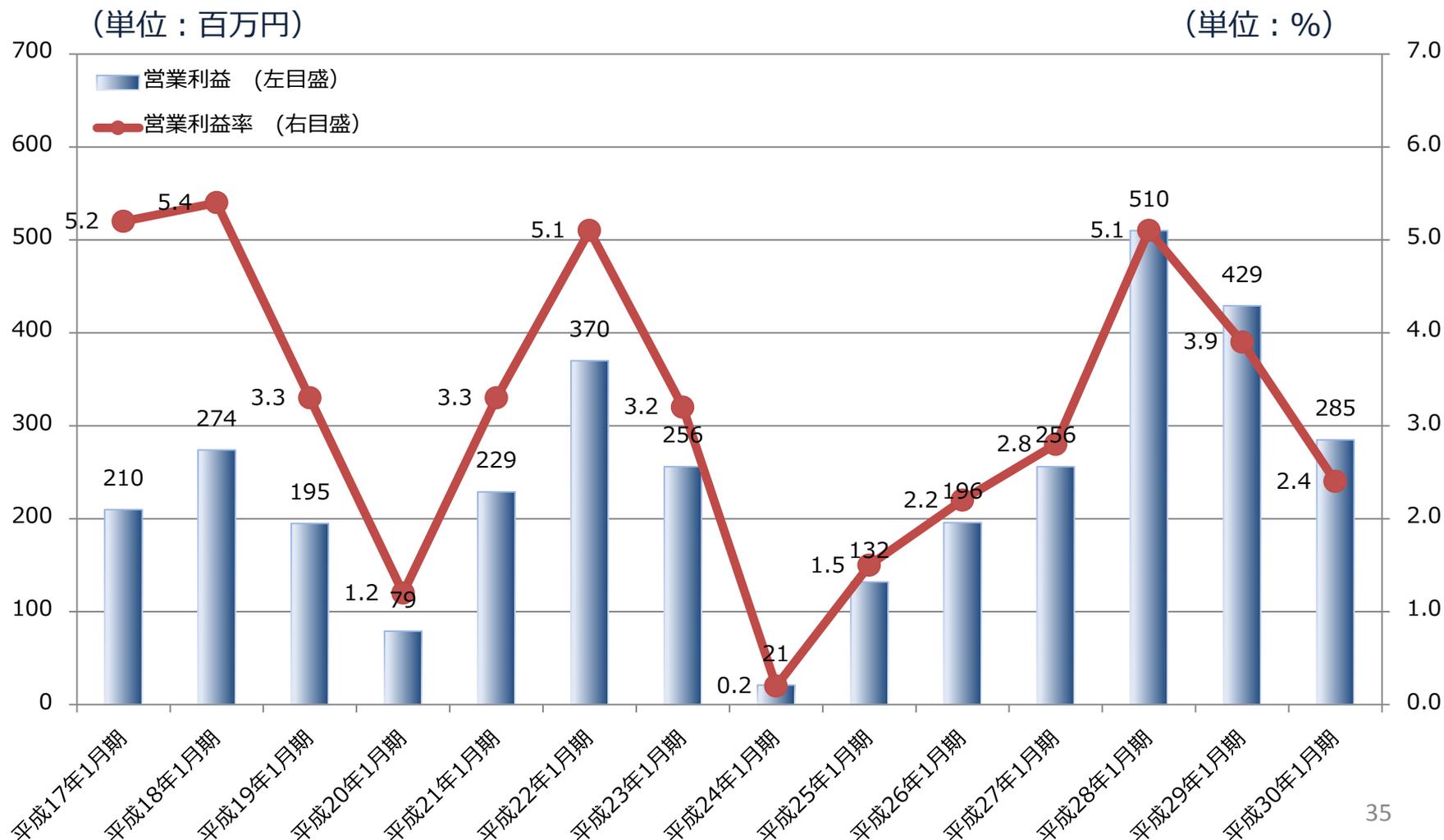


売上高と店舗数の推移



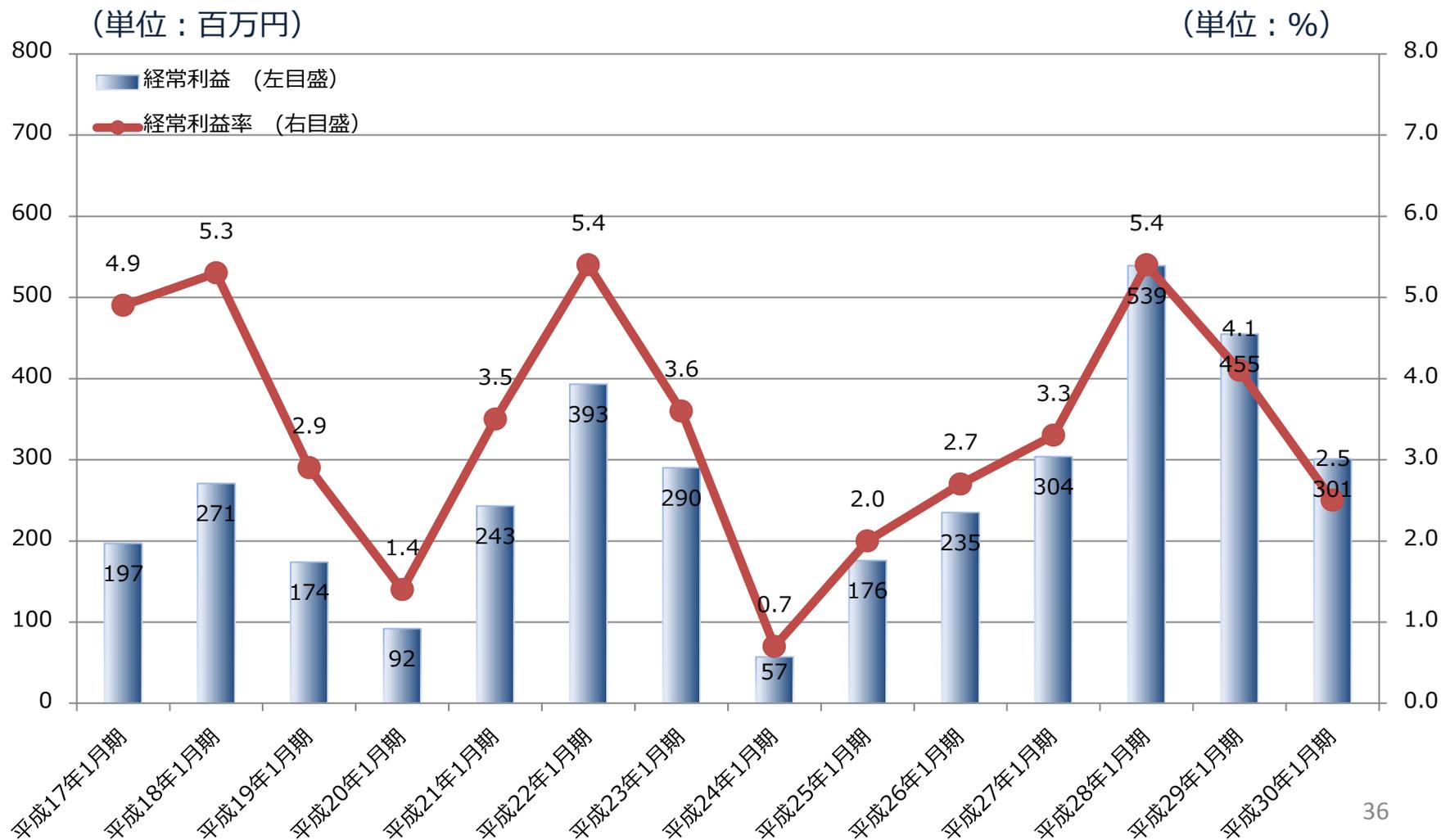


営業利益と営業利益率の推移



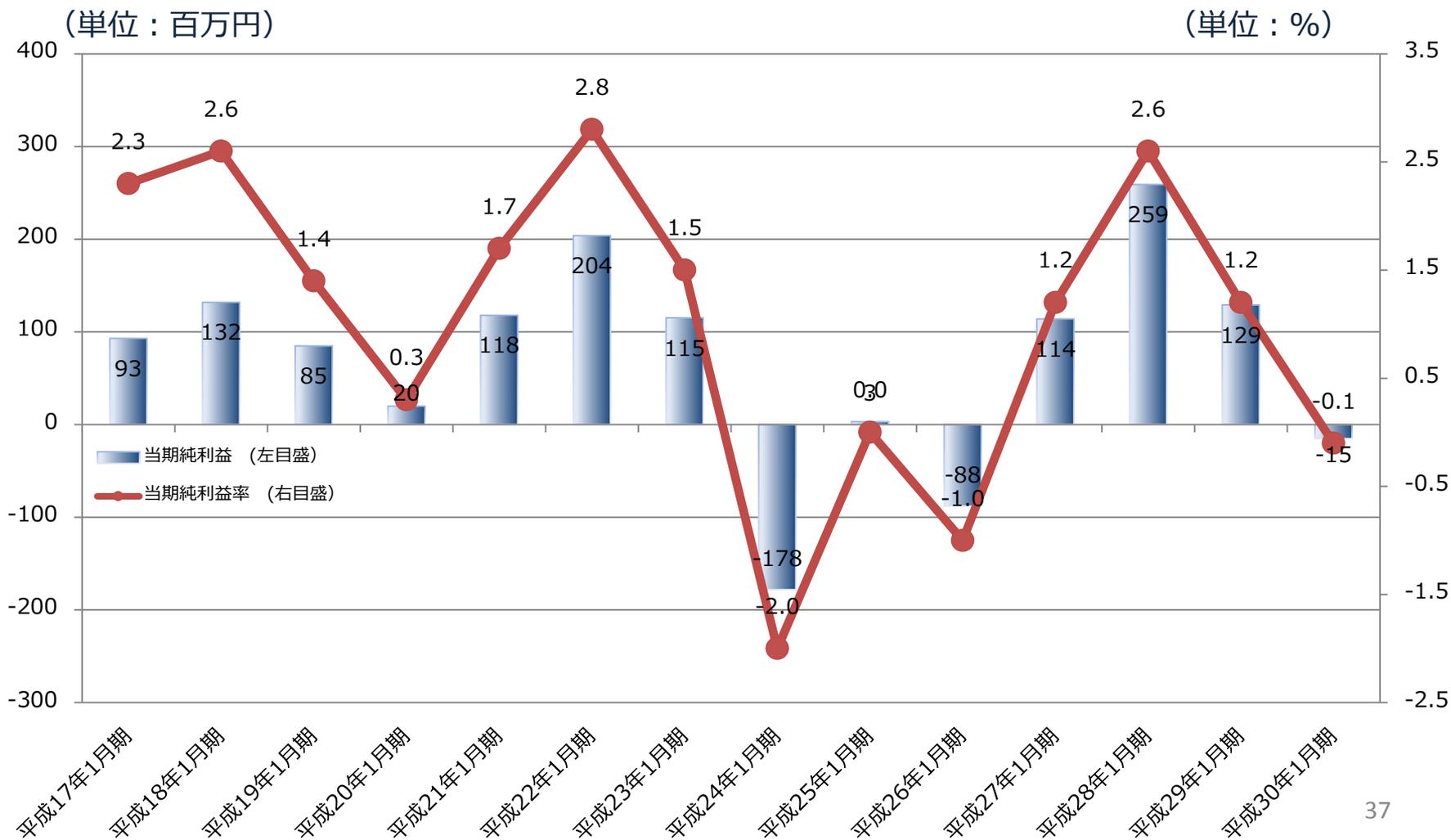


経常利益と経常利益率の推移



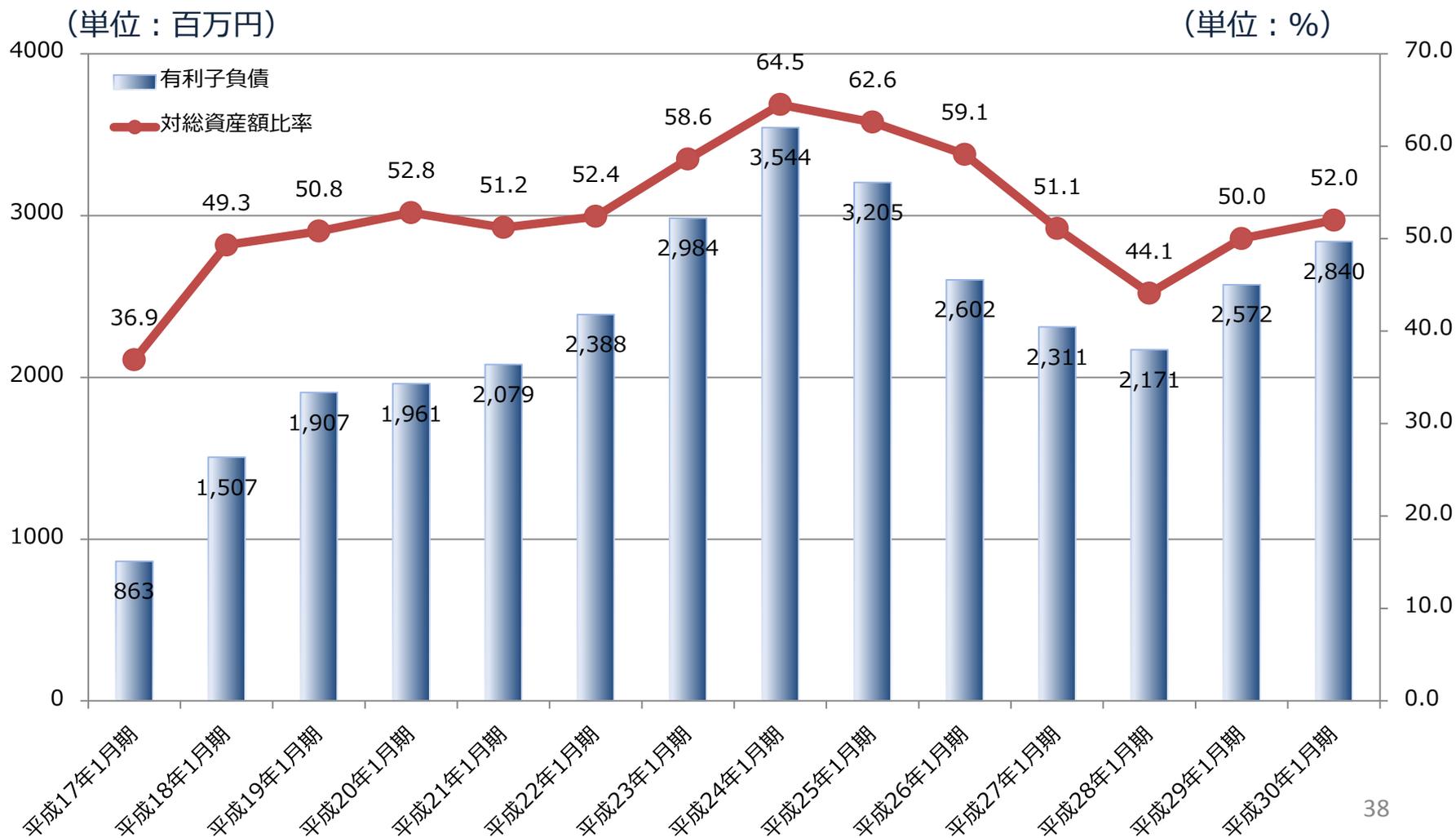


当期純利益と当期純利益率の推移



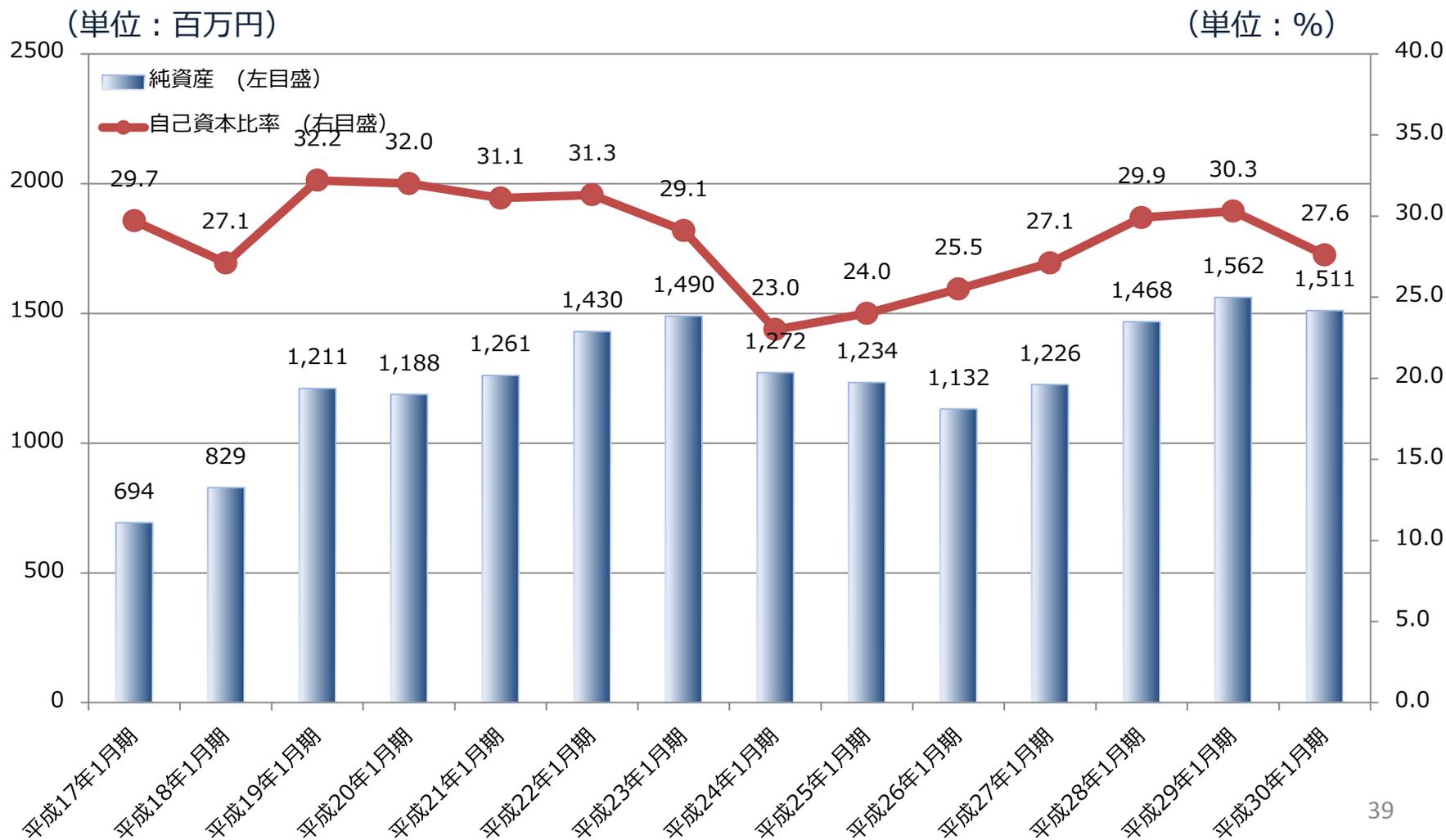


有利子負債と対総資産額比率の推移



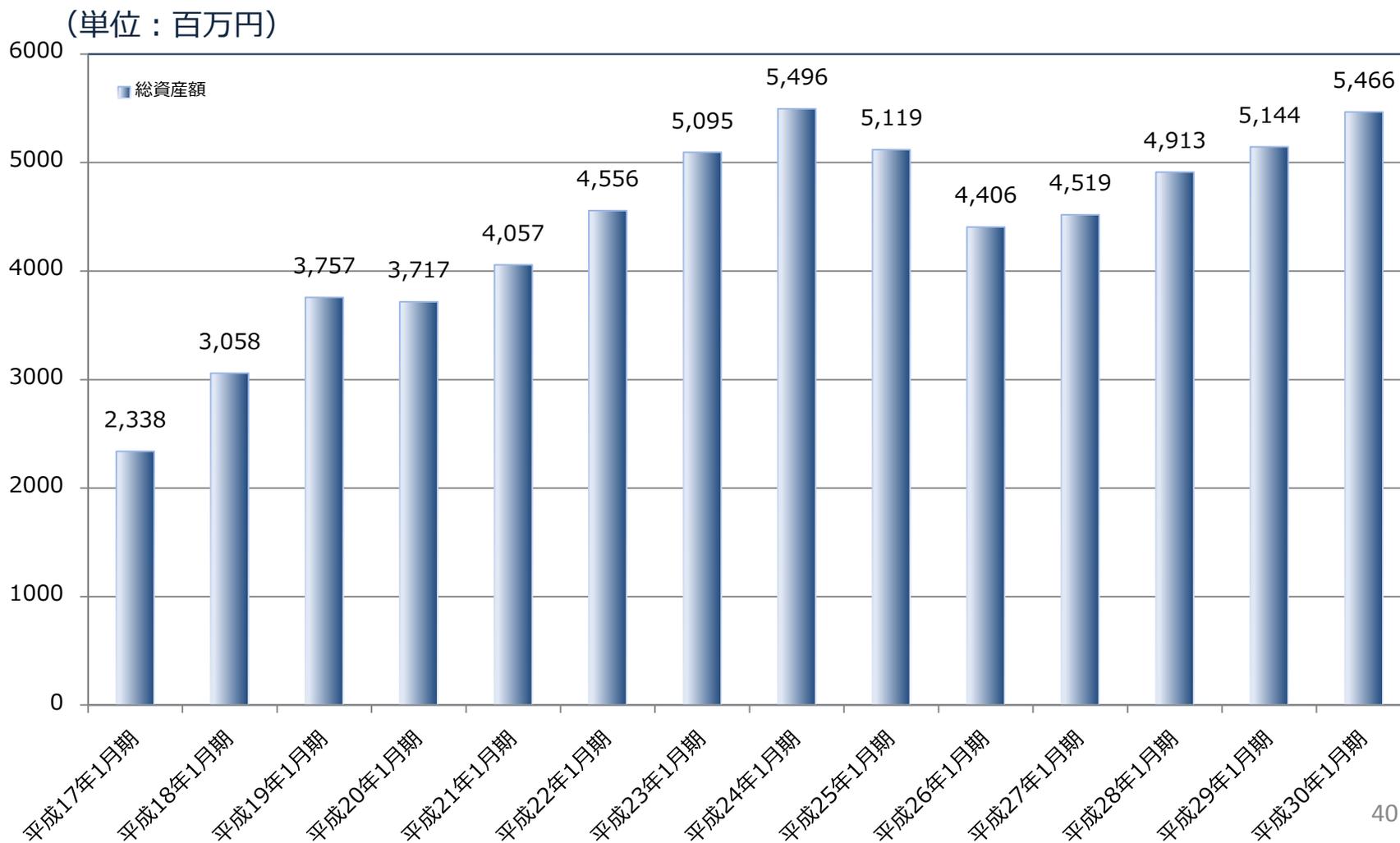


純資産と自己資本比率の推移





総資産の推移





問い合わせ先

問い合わせ先

部署 経営企画室
電話 029-896-5800
F A X 029-896-5802
E-mail ir@yamaokaya.com
ホームページ <http://www.yamaokaya.com>

本説明会にて提供した情報につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性がありますのでご承知下さい。

平成30年3月23日
株式会社丸千代山岡家
JASDAQ（証券コード：3399）



メモ



メモ
